

JFAによる編集上の修正点

\*修正および表現の変更は、条文の理解、解釈を変更するものではありません。したがって、審判員による事象の見極めや、判定基準に影響を及ぼすものではありません。

2022/23ページ	2022/23 競技規則 (修正前)	2023/24ページ	2023/24 競技規則 (修正後)	修正理由
35	下から2行目： ・テクニカルエリアからは、その都度ただ1人の役員のみが戦術的指示を伝えることができる。 Only one person at a time is authorised to convey tactical instructions from the technical area.	35	・テクニカルエリアからは、その都度ただ1人の <b>役員のみ</b> が戦術的指示を伝えることができる。	・2008年英語版において「a team official」から「only one person」に変更されたが和訳できていなかった。
36	最終行： ・GLTの使用について、各競技会規定に明記…	36	・GLTの使用について、 <b>各</b> 競技会規定に明記…	・表現を適切にした。
41	下から1行目： ・競技会規定	41	・ <b>競技会規定の規則</b>	・和訳の表現を統一した。
50	「9. 得点があったときに競技のフィールドに部外者がいた場合」1つ目の●の2つ目の・： ・外的要因であり、その者がプレーを妨害し、上記「競技のフィールドにいる部外者」で示すような得点の結果にならなかった場合、プレーは、ドロップボールで再開される。	50	・外的要因であった場合、プレーは、ドロップボールで再開される。ただし、その者がプレーを妨害し、上記「7. 競技のフィールドにいる部外者」で示すような状況で得点になった場合を除く。	・2023/24改正で「第3条-競技者」に文章が追加されたことに伴い、和訳をより理解しやすい表現にした。
55	下から9、10行目： ・試合や大会の主催者	55	・試合や <b>大</b> 競技会の主催者	・和訳の表現を統一した。
56	「原則」の2つ目●の4行目： ・FIFAの規定	56	・FIFAの <b>規定規則</b>	・和訳の表現を統一した。
56	「原則」2つ目の●5行目： ・大会	56	・ <b>大</b> 競技会	・和訳の表現を統一した。
57	11行目：試合や大会 ・ a match/competition	57	・試合や <b>大</b> 競技会	・和訳の表現を統一した。
60	「3. 職権と任務」3つ目の●： ・…、関係機関に審判報告書を提出する報告書には、…	60	・…、関係機関に審判報告書を提出する。報告書には、…	・表現を適切にした。
62	「4. VAR」1行目： ・試合や大会	62	・試合や <b>大</b> 競技会	・和訳の表現を統一した。
67	「7. 審判員の責任」2行目： ・主審または他の審判員は、…	67	・主審または <b>その</b> 他の審判員は、…	・表現を適切にした。
67	下から1行目： ・競技会の規約 や 規定	67	・競技会の <b>規約規定 や 規定規約</b>	・和訳の表現を統一した。
69	下から1行目： ・…明確にする必要がある。	69	・…明確にしなければならない <b>必要がある</b> 。	・英語版にある「must」が適切に和訳されていなかった。
70	「1. 副審」1つ目の●： ・ボール全体が競技のフィールドの…	70	・ボールの <b>全体</b> が競技のフィールドの…	・表現を適切にした。
70	「2. 第4の審判員」3つ目●： ・…あとに、競技者を再入場	70	・…あとに、 <del>に</del> 競技者を <b>その</b> 再入場	・表現を適切にした。
74	2a: 近い側のオフサイド 2b: 競技のフィールドの中央のオフサイド 2c: 遠い側のオフサイド	74	2a: <b>フィールドの近い側</b> でのオフサイド 2b: <b>競技のフィールドの中央</b> でのオフサイド 2c: <b>フィールドの遠い側</b> でのオフサイド	・2a、2b、2cの表現を統一した。
85	1つ目の●： ・…、ボールがゴールラインまたはタッチラインを完全に越えた。	85	・…、ボールの <b>全体</b> がゴールラインまたはタッチラインを <b>完全に</b> 越えた。	「完全」は、何をを持って「完全」とするのは人によって理解が異なることもあるため、競技規則の他の部分で使用している「全体」に統一した。
87	「1. 得点」5行目： ・ボールが完全にゴールラインを越える前に…	87	・ボールの <b>全体</b> が <b>完全に</b> ゴールラインを越える前に…	「完全」は、何をを持って「完全」とするのは人によって理解が異なることもあるため、競技規則の他の部分で使用している「全体」に統一した。
89	「進め方・ペナルティーマークからのキックの開始前」4つ目●： ・それぞれのチームが参加資格のある競技者からキッカーを選び、…	89	「進め方・PK戦（ペナルティシュートアウト）の開始前」4つ目●： ・それぞれのチームが <b>参加</b> 資格のある競技者からキッカーを選び、…	英語版「the eligible players」を、この部分のみ「参加資格」と和訳していたため、表現を統一した。
89	「進め方・ペナルティーマークからのキックの開始前」3つ目、5つ目と6つ目●： ・ペナルティーマークからのキック	89	・ <b>ペナルティーマークからの</b> キック	2022/23英語版の3つ目、5つ目そして6つ目の●において「the kicks, kicks, a kick」という表現を条文の流れから「ペナルティーマークからのキック」と和訳していた。しかしながら、2023/24の改正で「ペナルティーマークからのキック」という表現が「PK戦（ペナルティシュートアウト）」と変更されたことから、和訳を「キック」に修正した。
93	「2. オフサイドの反則」2つ目●2つ目・： ・ボールに向かう相手競技者にチャレンジする。	93	・ボールに向かう <b>こと</b> で相手競技者にチャレンジする。	・2022/23日本語版において、表現を統一する目的で英語版における「challenging an opponent for the ball」の「for the ball」を「向かうこと」から「向かう」に修正した。 ・しかしながら、2023/24の改正で「第12条-ファウルと不正行為：懲戒処置」の条文に「a challenge for the ball」が追加され、その和訳を「ボールに向かうこと（相手競技者）にチャレンジする」とすることが適切であると確認できた。 ・この和訳に基づき、2022/23で修正した3箇所についても同じ表現にすることが適切であることを再確認し、「向かう」から「向かうこと」に再度修正した。
94	2つ目の・： ・相手競技者がボールをプレーする可能性に影響を与えるような <b>明らか</b> な行動をとる。 Maiking an <b>obvious</b> action which clearly impacts on the ability of an opponent to play the ball	94	・相手競技者がボールをプレーする可能性に <b>明らかに</b> に影響を与えるような <b>明らか</b> な行動をとる。	・英語版「an obvious action」の「obvious」を和訳していなかった。 ・今回、「obvious」を「明らかに」と和訳したことで、表現の繰り返しを避けるため「明らか行動」を「明白行動」に修正した。
94	2つ目の●： ・その競技者が相手競技者の進路上にいて…	94	・その競技者が相手競技者の進路上に <b>入</b> って	・表現を適切にした。
94	3つ目の●2行目： ・ボールに向かう相手競技者にチャレンジする前に 4つ目の●2行目： ・ボールに向かう相手競技者にチャレンジした後に	95	・ボールに向かう <b>こと</b> で相手競技者にチャレンジする前に ・ボールに向かう <b>こと</b> で相手競技者にチャレンジした後に	・英語版「for the ball」をより適切な表現にした。
98	2行目： ・身体的接触によって相手競技者を妨げる。	100	・身体的接触によって相手競技者の <b>進行を遅らせるを妨げる</b> 。	・英語版「impede」の表現をより適切にし、「hold（押さえる）」との違いを明確にした。
98	「ボールを手や腕で扱う」2行目： ・競技者の手や腕にボールが触れることの全てが、反則にはならない。	100	・競技者の手や腕にボールが触れることの全てが、反則には <b>なら</b> るわけではない。	・表現を適切にした。
101	・身体的接触によって相手競技者の進行を妨げる ・相手競技者の進行を妨げるとは、ボールが両競技者のプレーできる距離内にもないとき、…	103	・身体的接触によって相手競技者の進行を <b>遅らせる妨げる</b> ・相手競技者の進行を <b>遅らせ妨げる</b> とは、ボールが両競技者のプレーできる距離内にもないとき、…	・英語版「impede」の表現の修正に基づいて修正した。
103	10個目の●： ・言葉または行動による異議を示す。	105	・言葉または行動により <b>異議</b> を示す。	・和訳の表現を統一した。
103	下から8行目： ・…にフィールドに入り、…	105	・…に <b>競技</b> のフィールドに入り、…	・表現を適切にした。

JFAによる編集上の修正点

\*修正および表現の変更は、条文の理解、解釈を変更するものではありません。したがって、審判員による事象の見極めや、判定基準に影響を及ぼすものではありません。

2022/23ページ	2022/23 競技規則 (修正前)	2023/24ページ	2023/24 競技規則 (修正後)	修正理由
104	3つ目の●： …または阻止するためにいかなる反則を行う。	106	…または阻止するためにいかなるその他の反則を行う。	・ここでは、前述されている反則「ボールを手や腕で扱う」以外の反則を示しているため、「その他の反則」に修正した。
106	「著しく不正なプレー」4～6行目： ・いかなる競技者もボールにチャレンジするときに、過剰な力や相手競技者の安全を脅かす方法で相手競技者に対し片足もしくは両足を使って前、横または後ろから突進した場合、著しく不正なプレーを行なったことになる。	108	・いかなる競技者もボールに向かうことでチャレンジするときに、過剰な力や相手競技者の安全を脅かす方法で相手競技者に対し片足もしくは両足を使って前、横または後ろから突進した場合競技者は、著しく不正なプレーを行なったことになる。	・英語版「for the ball」の和訳を統一した。
106	「乱暴な行為」1行目： ・乱暴な行為とは、身体的接触のあるなしにかかわらず、競技者がボールにチャレンジしていないときに相手競技者に対して、…	108	乱暴な行為とは、身体的接触のあるなしにかかわらず、競技者がボールに向かうことでチャレンジしていないときに相手競技者に対して、…	・英語版「for the ball」の和訳を統一した。
106	「乱暴な行為」5行目： ・加えて、競技者がボールにチャレンジしていないときに、…	108	・加えて、競技者がボールに向かうことでチャレンジしていないときに、…	・英語版「for the ball」の和訳を統一した。
114	上から1行目： ・競技者が主審の承認なく競技のフィールドに入る、…	116	・競技者が主審の承認なく競技のフィールドに入る、…	・英語版では「referee(主審)」という表現はないため削除した。
115	下から8行目～7行目： ・フリーキックが行われるとき、ペナルティーエリア内にいる、またはボールがインプレーになる前にペナルティーエリアに入った相手競技者が、ボールがインプレーになる前のボールに触れる、またはチャレンジした場合、フリーキックは再び行われる。	117	・フリーキックが行われるとき、ペナルティーエリア内にいる、またはボールがインプレーになる前にペナルティーエリアに入った相手競技者が、ボールがインプレーになる前にボールに向かって動きボールに触れる、またはチャレンジした場合、フリーキックは再び行われる。	・英語版「for the ball」を和訳していなかったため、文脈に合う和訳を加筆した。
117	「1. 進め方」4行目： ・ゴールキーパーは、ボールがけられるまで、…	119	・守備側ゴールキーパーは、ボールがけられるまで、…	英語版「The defending goalkeeper(守備側ゴールキーパー)」を和訳していなかった。
124	3つ目の●： …。ただし、スローワーがゴールキーパーだった場合、間接フリーキックが与えられる。	126	…。ただし、(スローワーだったが)守備側ゴールキーパーだったがボールを手や腕で扱った場合、間接フリーキックが与えられる。	・英語版「the ball was handled by the defending team's goalkeeper」の部分が適切に和訳できていなかったため修正した。
127	下から4行目～1行目： ・ペナルティーエリア内にいる、またはボールがインプレーになる前にペナルティーエリアに入った相手競技者が、ボールがインプレーになる前にボールに触れる、またはチャレンジした場合、ゴールキックは再び行われる。	129	・ペナルティーエリア内にいる、またはボールがインプレーになる前にペナルティーエリアに入った相手競技者が、ボールがインプレーになる前にボールに向かって動きボールに触れる、またはチャレンジした場合、ゴールキックは再び行われる。	・英語版「for the ball」を和訳していなかったため、文脈に合う和訳を加筆した。
135	2行目： ・試合や大会	137	・試合や大会競技会	・和訳の表現を統一した。
142	下から10行目： ・大会規定	144	・大会競技会規定	・和訳の表現を統一した。
145	上から4行目： ・それぞれの規則	147	・それぞれの規則規約	・和訳の表現を適切にした。
160	「異議 (Dissent)」 ・審判員の決定に対するあからさまな抗議 (言葉や行動) で、…	166	・審判員の決定に対するあからさまな抗議または不満 (言葉や行動) で、…	・英語版「disagreement (不満)」が和訳していなかった。
162	「ゴールラインテクノロジー」1行目： ・ボールがゴールラインを完全に越えて…	168	・ボールの全体が完全にゴールラインを完全に越えて…	・表現を適切にした。
162	「I」： ・妨げる (Impede)	168	「I」： ・進行を遅らせる妨げる (Impede)	・英語版「impede」の表現の修正に基づいて修正した。
165	用語集「著しく不正なプレー」： ・相手競技者の安全を脅かす、または過剰な力や粗暴な行為を伴うタックルやチャレンジで、退場 (レッドカード) により罰せられる。	171	・ボールに向かうことで、相手競技者の安全を脅かす、または過剰な力や粗暴な行為を伴うタックルやチャレンジで、 <del>すること</del> 。退場 (レッドカード) により罰せられる。	・英語版「for the ball」をより適切な表現にした。
166	用語集「タックル」： ・(グラウンド上または空中にある) ボールに足でチャレンジすること	172	・ <del>(グラウンド上または空中にある)</del> ボールに向かうことで足で用いてチャレンジすること (グラウンド上または空中にあるであっても)	・英語版「for the ball」をより適切な表現にした。
167	用語集「乱暴な行為」： ・ボールにチャレンジするのではなく、…	173	・ボールに向かうことでチャレンジするのではなく、…	・英語版「for the ball」をより適切な表現にした。
171	6行目： ・比較的低いレベルのサッカーにおいては、…	177	・比較的低いレベルグラスルーツのサッカーにおいては、…	・表現を適切にした。
188	「コーナーキック/ゴールキック」1行目： ・ボールが完全にゴールラインを越えたとき、…	194	・ボールの全体完全にゴールラインを越えたとき…	「完全」は、何を持って「完全」とするのは人によって理解が異なることもあるため、競技規則内でも使用している「全体」に統一した。
191	「スローイン」1行目： ・ボールがタッチラインを完全に越えた場合	197	・ボールの全体がタッチラインを完全に越えた場合	「完全」は、何を持って「完全」とするのは人によって理解が異なることもあるため、競技規則内でも使用している「全体」に統一した。
196	「相手競技者を妨害する⑦オフサイドではない」： ・ボールへ向かう相手競技者にチャレンジしていない。	202	・ボールへ向かうことで相手競技者にチャレンジしていない。	・英語版「for the ball」をより適切な表現にした。
196	「相手競技者を妨害する⑧オフサイドではない、コーナーキック」： ・ボールへ向かう相手競技者 (B) にチャレンジしていない。	202	・ボールへ向かうことで相手競技者 (B) にチャレンジしていない。	・英語版「for the ball」をより適切な表現にした。
197	「相手競技者を妨害する⑨オフサイド」： ・ボールへ向かう相手競技者 (B) にチャレンジすることによって、…。 (A) は、ボールに向かう (B) にチャレンジしている。	203	・ボールへ向かうことで相手競技者 (B) にチャレンジすることによって、…。 (A) は、ボールに向かうことで (B) にチャレンジしている。	・英語版「for the ball」をより適切な表現にした。